



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



～ 川崎市庁内SDGs取組の進め方 ～

※「第18回マニフェスト大賞」『優秀賞』受賞！！

・応募総数：3,088件（第18回）

・優秀賞：40件（77倍）



Manifesto Awards

Kawasaki City SDGs Guidance

KAWASAKI CITY × SDGs use to...



PROMOTION

IMPROVEMENT

COLLABORATION

2023年10月
川崎市





SDGs大賞2022 (おつけもの慶)



SDGs大賞2022 (NECプロボノ倶楽部・川崎総合科学高校)



SDGs大賞2022 (DeNA川崎ブレイブサンダース)



外国人市民代表者会議 (2021年SDGsトレンスポスター)

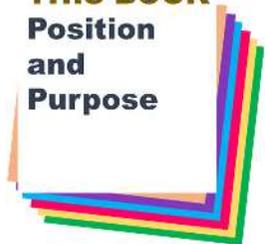
Contents

-  **序章・基本的事項** . . . P 3
～ 本「進め方」の目的・位置づけ等 ～
-  **第1章 「SDGsの本質と使い方」を知る** . . . P 9
～ SDGsは「コンパス」「共通言語」「エンジン」の役割 ～
-  **第2章 庁内事務事業をSDGs視点でプロモーションする** . . P21
～ SDGsを使って自分たちの仕事を魅力的に発信・PR ～
-  **第3章 庁内事務事業をSDGs視点で改善・連携する** . . P27
～ SDGsを使って「こうすればもっと良くなる」を实践 ～
-  **第4章 庁内SDGsの先進事例や身近な事例を知る** . . . P33
～ 「川崎市のSDGs取組はこんなにすごい」を知り、活かす ～
-  **第5章 かわさきSDGsのゴールに向けて** . . . P41
～ 推進体制・進行管理・今後の方向性 ～
-  **附属資料等** . . . P43

～ 本「進め方」の目的・位置づけ等 ～

序章・基本的事項

THIS BOOK
Position
and
Purpose



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



高津区末長周辺 (2020年SDGsトレインポスター)

1 本「進め方」の目的と「かわさきSDGs」の基本情報①

(1) 本「進め方」の目的

- 「Kawasaki City SDGs Guidance ～ 川崎市庁内SDGs取組の進め方 ～（以下「進め方」）」は、私たち市職員がSDGs※1にどう向き合い、自分たちの事務事業にどのように組み込んでいけばよいのかなどの「考え方」や「具体例」を示したものであり、**職員の業務遂行の手引書**となるものです。

(2) 「川崎市SDGs推進方針」と「川崎市総合計画」の統合

- 本市は、平成31（2019）年2月に「川崎市SDGs推進方針」を策定し、その後「川崎市総合計画第3期実施計画（以下「総合計画」）」（R4.3策定）」と統合しました。
- 川崎市のSDGs取組（以下「かわさきSDGs」）は、**総合計画のすべての事務事業をSDGsのゴールと関連づける**とともに、**総合計画と一体的に進行管理を行う**こととしました。

(3) SDGsの取組期間

- 2016年から2030年までの15年間



※1 Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標
17のゴール、169のターゲット、231の指標（重複を除く）から構成され、平成27（2015）年9月の国連サミットで全会一致で採択された、世界共通の目標のこと。**取組期間は2016～2030年の15年間。**

1 本「進め方」の目的と「かわさきSDGs」の基本情報②

(4) 「SDGs未来都市」の選定

- 本市の持続可能な社会の実現に向けた取組が国から評価され、令和元（2019）年7月、「**SDGs未来都市**」に選定されました。また、令和4（2022）年3月には**川崎市第2期SDGs未来都市計画（2022～2025年）**を策定しました。



(5) 「かわさきSDGsパートナー」・「川崎市SDGsプラットフォーム」の設立

- 本市はSDGs未来都市として、多様なステークホルダーとの連携強化と取組支援の仕組みとして、令和3（2021）年3月、川崎市SDGs登録・認証制度「**かわさきSDGsパートナー**」をスタートし、同時にパートナー同士をつなぎ新たな取組の創出を行う「**川崎市SDGsプラットフォーム**」を設立しました。
- 現在、パートナー向けの具体的な支援事業として、**かわさきSDGs大賞、SDGsモデル事業支援補助金、分科会制度、フォーラム・セミナー、ポータルサイト**などを運用しています。
(詳細は後段の**附属資料**参照)



1 本「進め方」の目的と「かわさきSDGs」の基本情報③

(6) かわさきSDGsパートナーの状況

○ パートナー数

令和5（2023）年5月に実施した第8回募集までで**3,231**の事業者を登録・認証。

第1段階：**登録**：SDGsの達成に向けて取り組むことの意味表示（宣言）

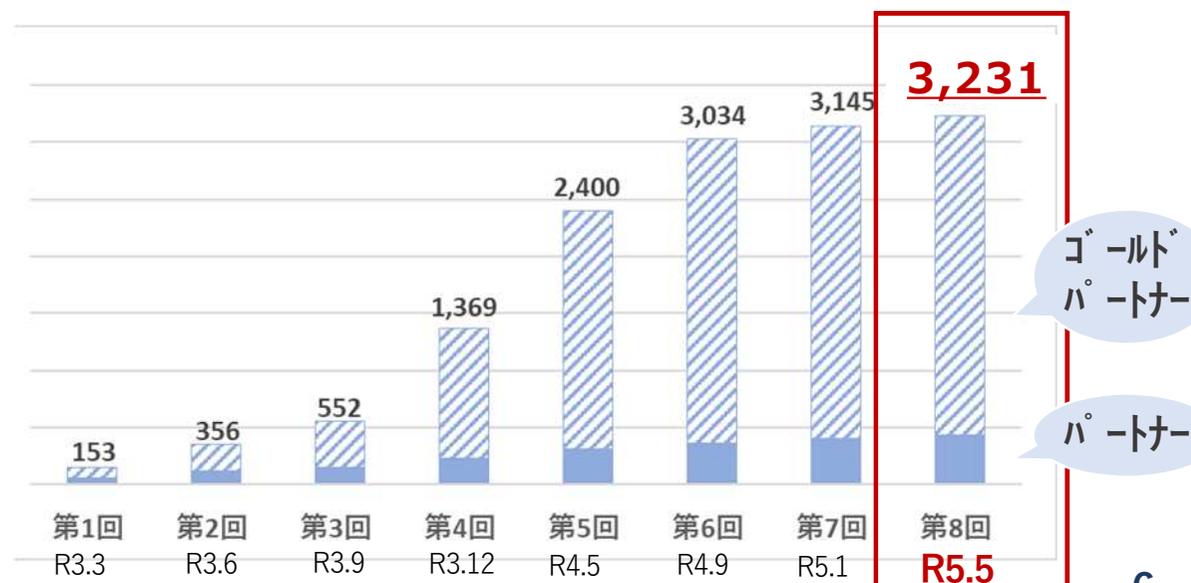
第2段階：**認証**：SDGsへの取組の自己評価・今後に向けた**目標設定**

○ 登録・認証のインセンティブ

- 川崎市SDGsプラットフォームへの参加（SDGs大賞や補助金制度、分科会制度、フォーラム・セミナー等への参加、情報発信等）

○ 認証のインセンティブ

- 市融資制度「**SDGs取組支援融資**」による信用保証料補助。
- 市入札契約制度の「**主観評価項目制度**」における加点。



2 本「進め方」の位置づけ①

本「進め方」の位置づけ

- 前述のとおり、本市は総合計画のすべての事務事業をSDGsのゴールと関連づけ、本市の目指すSDGsの達成は、総合計画の目標達成に沿って成り立つものとして整理しました。つまり、**私たち職員は日々の所管事務事業に取り組むに当たり、SDGsの本質を理解したうえで進める必要があります。**
- このため、本「進め方」は「職員がSDGsの本質を理解・意識すること」及び「職員がSDGsをツールとして使いこなすこと」を促進するための、**考え方や具体的な事例等を示した「手引書（目安・ツール）」の位置づけ**として作成するものです。
- **次章（第1章）以降**では、**SDGsの本質と使い方**について示していきます。

「川崎市総合計画（第3期）」は、かわさきSDGsの達成に直結する「**行政計画**」



「川崎市市内SDGs取組の進め方」は、職員がSDGsの本質を理解し、SDGsをツールとして使いこなすための「**手引書**」



2 本「進め方」の位置づけ②

Column 1 SDGsの本質とは？

市の全ての事務事業をSDGs取組と位置づけたのであれば、**私たちは自分の事務事業だけ淡々とこなせばSDGsに取り組んでいると言える**のではないのでしょうか？

事務事業を淡々とこなすことも行政職員の責務を果たすうえで必要なことですが、**SDGsを上手く活用することができれば、自分たちの仕事がより良いものに変化し、市民サービスの質の向上につながります**（持続可能な最幸のまち かわさき に近づきます）。SDGsの本質について、**第1章以降**で学んでいきましょう。

Column 2 SDGsは2023年から後半フェーズ

- SDGsの取組期間は2016～2030年であり、**2023年**が折り返し地点です。今後、前半フェーズに撒いたタネを咲かせ、取組を一気に加速させるために、具体的な事例や基準を示すことが期待されています。
- 2023年からSDGsは**後半フェーズ**であり、**萌芽期**から**加速期**への**移行段階**となります※2。
(なんとなく周知する、なんとなくPRする、とりあえずSDGsバッジをつける・・・といった段階ではありません)

SDGsの取組フェーズのイメージ図（※2を参考に川崎市作成）



※2 「Global Sustainable Development Report 2023(Advance, Unedited Version 14 June 2023)」（United Nations 2023.6）

～ SDGsは「コンパス」「共通言語」「エンジン」の役割 ～

第1章 「SDGsの本質と使い方」を知る



・ ・ 第1章の内容は ・ ・

1 「SDGs」を多角的な目線で見ると

- ・ SDGsを行政目線、市民目線、学校教育目線、経営・投資目線などで見る。

2 「SDGs」の本質と使い方を考える

- ・ SDGsは「コンパス」、「共通言語」、「エンジン」の役割を持つ。

3 「SDGs」を「かわさきSDGs」としてカスタマイズする

- ・ SDGsは「プロモーションツール」、「改善ツール」、「連携ツール」として活用できる。



外国人市民代表者会議 (2021年SDGsトレインポスター)

1 「SDGs」を多角的な目線で見ると①

(1) はじめに「SDGsの超基礎」

○ SDGsの超基礎 ～最低限把握したい事項～

- ・ SDGs : **Sustainable Development Goals** : 持続可能な開発目標
- ・ 平成27 (2015) の国連サミットで全会一致で採択された**世界共通目標**
- ・ **17**のゴール、**169**のターゲット、**231**の指標 (重複を除く) から構成
- ・ **経済・社会・環境**の**3側面**の取組を総合的に推進
- ・ 取組期間は**2016～2030年の15年間**
- ・ 2023年から**後半フェーズ**を迎える



(2) 「行政目線」で見たSDGs ～本市の立ち位置・位置づけの再確認～

- SDGsの考え方や取組は、総合計画に掲げるめざす都市像「**成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき**」と同様の**方向性**であることから、前述のとおり、川崎市SDGs推進方針と総合計画 (第3期実施計画) を**統合**しました。
- これにより、本市の**すべての事務事業**とSDGs取組としての関連づけを明確にするとともに、**総合計画と一体的に進行管理を行う**こととしました。

(参考) 「SDGsスタディパネル」

- ・ SDGsスタディパネルは、17のSDGsゴールごとに、関連するキーワードや169のターゲット間の関係性がわかりやすくまとめられた学習ツールです。ぜひご活用ください。(出典：法政大学川久保研究室)



1 「SDGs」を多角的な目線で見ると②

(3) 「市民目線」でみたSDGs

- 市民目線では、SDGsは全体として意識するよりもむしろ、SDGsを意識せずに、**ジェンダー・平等や貧困など個人で抱えている問題に直結**しています。
- 他方、SDGsという概念自体は一般的に普及し**約80%の国民が認知**※3していますが、気候変動や水環境など地球規模の課題については、**個人で解決できない話**、あるいは**自分と関係ない話**として捉えられることも多く※4、SDGsの市民理解の促進をさらに深めていく必要があります。

(4) 「学校教育目線」でみたSDGs

- 令和3（2021）年5月、文部科学省は、ESDに関する直近の国際的動向や学習指導要領の改訂も踏まえ、**SDGsを実現するための行動、実践を促進するための手引き**として「**持続可能な開発のための教育（ESD）推進の手引き**」を改訂しました。
- 現在、**全ての市立小学校で、SDGsの達成につながる様々な学習に取り組んでいます。**



平間小学校：SDGs教育の状況

中には
保護者よりも
子どもの方が
SDGsに詳しい
なんてケースも

※3 「SDGsアクションプラン2023」（外務省SDGs推進本部 2023.3）

※4 World Now 「市民が参加するSDGsが社会課題に新たな視点を与える」（GLOBE+ 2018.1）

1 「SDGs」を多角的な目線で見ると③

(5) 「経営・投資目線」でみたSDGs ～国際市場の大前提となったESG（≒SDGs※）～

※本「進め方」では、ESGとSDGsとの関係性・親和性が高いことを「≒」と表現

○ ESG（≒SDGs）と国際市場

- ・ ESG（Environment（**環境**）, Social（**社会**）, Governance（**企業統治**））は、SDGsが国連で採択されるよりも前に存在する考え方で、主に企業や投資家の間で使われる用語です。
- ・ ESGとSDGsの3側面「経済・社会・環境」との関連性は高く、多くの企業が持続可能な経営手法としてESGに取り組んでおり※5、今や**国際市場ではESG（≒SDGs）は投資・ビジネスの大前提**になっていると考えられます。

Column 3

なぜESG（≒SDGs）が投資・ビジネスの大前提に？

国際市場は、気候変動（脱炭素）などを背景に、

- ・ 2006：国際ルールとして、**投資判断**にESGを組み込むことを第1原則化
- ・ 2013：国際ルールとして、**保険事業**にESGを組み込むことを第1原則化
- ・ 2019：国際ルールとして、**銀行分野**でパリ協定（脱炭素）に資することを第1原則化



投資・保険・銀行の3分野でESGが**第1原則**となり、市場に決定的に影響※5。
2019年以降、世界的企業や国内企業で**ESG（SDGsとりわけ脱炭素）**の取組が急激に加速化。

※5 「ESG投資を巡る課題」（財務省資料：早稲田大学経営管理研究科根本直子教授 2021.6）

1 「SDGs」を多角的な目線で見ると④

(6) 「中小企業経営目線」でみたSDGs ～SDGsを意識しないと生き残れない時代に～

- 中小企業にとっての最大のリスクとして、顧客から「**注文が減る**」、顧客が「**購入しなくなる**」などが挙げられます。
- テレビ・新聞・ネットニュース等でESG（≒SDGs）に関する企業関連記事を目にしない日はなく、前述のとおり、国際市場ではESG（≒SDGs）が投資・ビジネスの大前提となっています。
- **大手企業等の取引先によるサプライチェーンの強化に向けた要請**は、脱炭素をはじめ脱プラスチック、循環経済（サーキュラーエコノミー）、人権問題、ジェンダーなど多岐にわたっているため、**中小企業が事業を継続していくためにもSDGsへの対応が迫られています**※6。



※6 「SDGs経営導入ガイド」(川崎市発行 2023.3)

1 「SDGs」を多角的な目線で見ると⑤

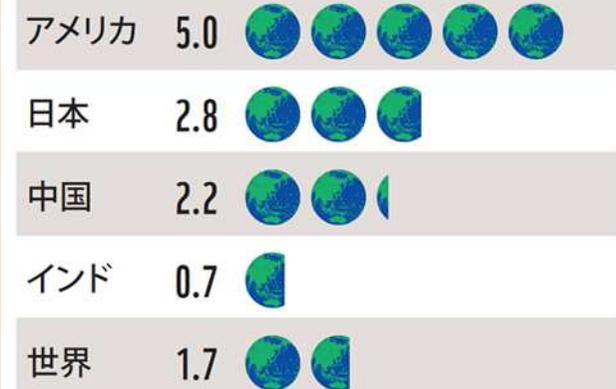
Column 4

限界に近づく地球

- 環境指標の1つとされる「**エコロジカル・フットプリント**」によれば、現状の人類が資源の消費に要する土地面積は**地球1.7個分（日本人は地球2.8個分）**の大きさに相当し、**我々人類は今の時点で持続可能ではない生活を送っている**と指摘されています^{※7}。
- また、地球温暖化の観点では**北極・南極の氷解**等により地球全体が取り返しのつかない**原状回復不能な状況**に陥るとされているCO₂排出濃度（**ティッピングポイント**）という考え方があり、ティッピングポイントは諸説ありますが**450ppm**程度との指摘もあります^{※8}。
- 地球全体の大気中のCO₂濃度は、過去100万年間172～300ppmで推移していましたが、産業革命以降、**毎年1～2ppmずつ上昇**し続けており、**2022年時点で約420ppm**まで上昇しています。このままのペースでは、**残り15年程度**で地球はティッピングポイントを迎え、取り返しのつかない被害が起きてしまうリスクがあります。

地球は何個必要？

もし世界人口がその国と同様の生活をしたら…



出典：グローバル・フットプリント・ネットワーク, NFA2018

※7 「Global Footprint Network」(NFA 2018)

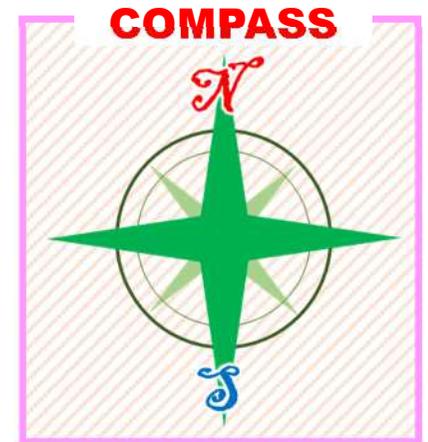
※8 「グリーントランスフォーメーション(GX)に向けて」(経団連 2022.5), NOAA/ESRL Global Monitoring Division

2 「SDGs」の本質と使い方を考える①

(1) SDGsは「コンパス」である

- SDGsは「**誰一人取り残さない**」をキーワードにしており、私たち人類が持続可能な世界を目指すために**必要な要素がすべて詰まっています**。
- このため、私たち行政や企業が事業を進めるうえで考慮しなくてはならないことが、「**17のゴール**」と「**169のターゲット**」という**具体的な形で明確に示されています**。
- SDGsの17のゴールと169のターゲットを踏まえながら、**既存事業の見直しや新規事業を検討**することで、当該事業がSDGsの何番のゴールにつながっていて、どうすれば他のゴール・ターゲットにつなげることができるのかなど、**事業の改善・連携が進めやすくなります**※9。

SDGsは職員が考慮しなくてはならないことを明示してくれる**コンパス**として機能し、**事業の改善・連携**などに役立ちます



出展：SDGs Compass (SDGsの企業行動指針 - GRI・UNGC・WBCSD)

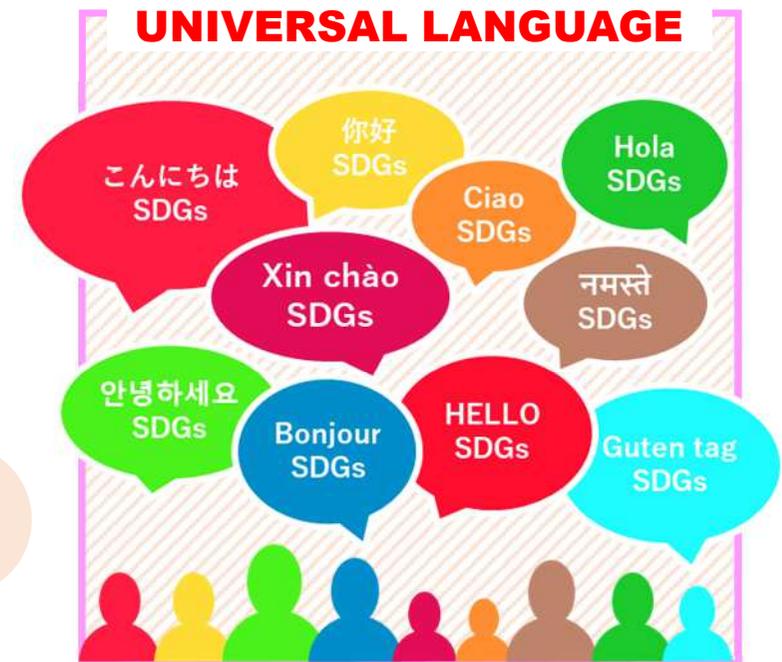
※9 SDGs Compass (SDGsの企業行動指針 - GRI・UNGC・WBCSD)

2 「SDGs」の本質と使い方を考える②

(2) SDGsは「共通言語」である

- SDGsは地球規模の課題を解決するものとして、先進国・途上国を問わず**世界中の国々**で取り組まれており、政府、地方自治体、企業、NPO団体、市民といった**あらゆる主体が**SDGsに取り組んでいます。
- 例えば、本市が脱炭素化（ゴール13関連）の取組を市内外に発表・発信した場合、それがゴール13の解決を図るための取組であることは、市民や市内企業だけでなく、他地域、さらには他国にも**同様の認識**で世界共通の言語として伝わります。
- **SDGsは今や投資、保険、銀行分野における重要な判断基準**となっており、「どれだけ具体性を持ってSDGsに取り組んでいるか」は**世界中が注目**しています。

SDGsという**共通言語**※10を使って自分たちの業務を発信することで、効果的に**PR**することができます



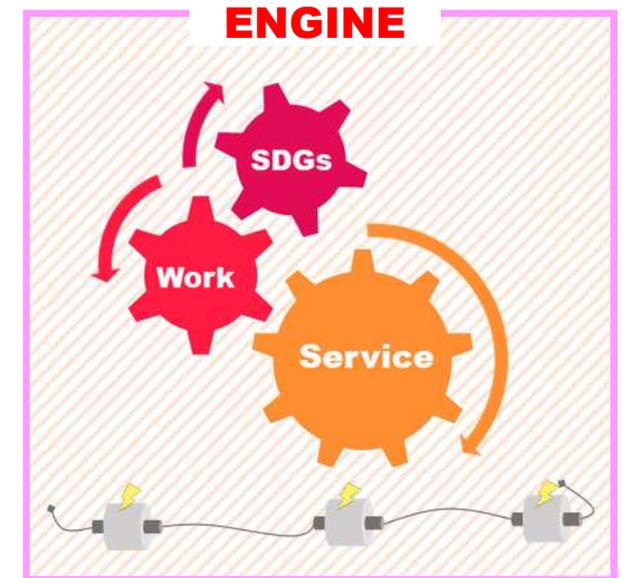
※10 「特集 SDGs（持続可能な開発目標）と科学技術イノベーションの推進」（文部科学省 2019.9）

2 「SDGs」の本質と使い方を考える③

(3) SDGsは「エンジン」である

- 前述のとおり、SDGsは「コンパス」と「共通言語」の性質を持っており、SDGsは国内外において幅広い分野の指針となり、またSDGsに資する取組に対する理解が進みやすくなっています。
- 行政や企業の進める取組がSDGsに資する取組であるならば、（経費・人的リソースの検討は別途必要ですが）**当該事業の正当性の説明がしやすく、庁内及び庁外の合意形成を図りやすくなります。**
- また、行政施策の中には「脱炭素」「地域包括ケア」「パラムーブメント」など、**全庁に影響する分野**は複数ありますが、**SDGsはそのすべての要素を包括的に含んでいるため、全庁の事業をSDGsとして横串を指すことで、事業の統合・連携が図られやすくなります。**
- このように、**SDGsは地方創生の原動力（エンジン）**として、事業の一層の充実・深化につなげることができます※11。

SDGsは**事業の検討加速化**や、**事業の統合・連携**を進めやすくする**エンジン**として機能します



※11 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020改訂版）」（内閣府 2020.7）

3 「SDGs」を「かわさきSDGs」としてカスタマイズする①

(1) SDGsは「カスタマイズ」できる

- **SDGsは「17のロゴマーク」をちらしや資料に貼るだけの単なる「アイコン」ではありません。**

SDGsは、上手く活用することで自分たちの仕事をより良いものにグレードアップさせ、地域課題の解決に繋げることができる、非常に**有用なツール**としても機能します。

- そして、グローバルな課題の解決のための枠組みであるSDGsを、地域レベルの課題解決に適用するためには「**ローカライズ**」と呼ばれる翻訳作業が必要であるとされています。※
(本市は、SDGs推進方針を総合計画に統合し「かわさきSDGs」として取り組んでいます)



SDGsはローカライズが必要です。次章（第2章）以降では、SDGsを「かわさきSDGs」として**カスタマイズ**し、SDGsを「**プロモーションツール**」「**改善ツール**」「**連携ツール**」として**活用**していくための、具体的な方法や先進事例等を示していきます。

3 「SDGs」を「かわさきSDGs」としてカスタマイズする②

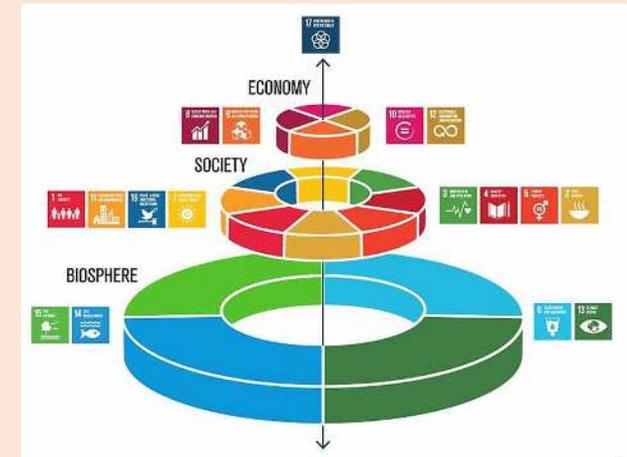
(2) 「かわさきSDGs」の段階の整理

	段階	状態	川崎市の状況	
<p>少し前 (2020年頃)</p>	<p>第1段階</p> 	<p>SDGsの存在を認知・理解する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの職員はSDGsの存在を認知し、SDGsの定義や17ゴールのロゴマーク等をなんとなく把握。 	<p>ロゴマークくらいなら知ってるよ</p> 
<p>多くの職員の現状</p>	<p>第2段階</p> 	<p>SDGsを業務に位置づける</p>	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画（3期）に全事務事業をSDGs取組と位置づけ。 全職員がSDGs取組を実施。 	<p>自分の業務はSDGs取組なんだね</p> 
<p>本「進め方」の狙い</p>	<p>第3段階</p> 	<p>SDGsの本質を理解しツールとして活用する</p>	<ul style="list-style-type: none"> SDGsを第3段階（本質の理解と活用）まで取り組んでいる部署・職員はそれほど多くない状況。 	<p>第2章へ</p> 

3 「SDGs」を「かわさきSDGs」としてカスタマイズする③

Column 5 SDGsの「ウェディングケーキ」と「5つのP」

- SDGsの分類方法は複数あります。**SDGsウェディングケーキモデル**では、SDGsの目標を「生物 (Biosphere)」「社会 (Society)」「経済 (Economy)」の3つに分類するモデルで、スウェーデン出身の環境学者のヨハン・ロックストローム氏が考案しました。このモデルでは、「**生物 (地球環境)**」をベースとして、「**社会**」や「**経済**」が成立していることが示されています※13。
- また、2030アジェンダでは、持続可能な開発のキーワードとして、「**People (人間)**」「**Prosperity (繁栄)**」「**Planet (地球)**」「**Peace (平和)**」「**Partnership (パートナーシップ)**」の5つを掲げており、この「**5つのP**」を基準にSDGsに分類する考え方もあります※14。



5つのP	SDGs GOAL
P eople	: 1, 2, 3, 4, 5, 6
P rosperity	: 7, 8, 9, 10, 11
P lanet	: 12, 13, 14, 15
P eace	: 16
P artnership	: 17

※13 credit: Azote Images for Stockholm Resilience Centre, Stockholm University

※14 持続可能な開発のための2030アジェンダ (外務省仮訳版)

～ SDGsを使って自分たちの仕事を魅力的に発信・PR ～

第2章 庁内事務事業をSDGs視点でプロモーションする



・・・第2章の内容は・・・

職員のやる気と熱意を高める

INNER PROMOTION



川崎市の魅力を市内外に発信する

CITY PROMOTION



多摩川周辺 (2020年SDGsトレインポスター)

1 SDGsを「シティプロモーション」として活用する①

(1) 「SDGs×シティプロモーション」

- 前述のとおり、SDGsは共通言語であり、またサステナビリティを重視する考えが**世界中で認識・注目**されています※15。
- 事業推進にあたり**SDGsを意識**することで、それが持続可能な社会を目指した事業であることのPRになり、また、SDGsという共通言語を用いることで、その事業は**国内外のSDGs関心層に魅力的に映り、市内外の様々な主体の注目・関心**を集めやすくなります。

(2) 単に広報ちらしにSDGsアイコンを貼るというだけではありません

- SDGsを使ったプロモーションというと、多くの職員が**SDGsの17ゴールのアイコンを広報ちらし等に貼り付ける**ことを思い浮かべるかもしれませんが。
- 確かにそれも1つのPR手段ではありますが、それ以外にも例えば、「**文脈中にSDGsを明示する**」「**事業計画・内容にSDGsの考え方を明示する**」など、様々な方法が考えられます。



市政だよりでは、特集記事に関連するSDGsゴールを明示しています。

※15 「2022経済展望とサステナブルな資本主義の道筋」(経団連会長スピーチ 2021.12)

2 SDGsを「インナープロモーション」として活用する①

(1) 「インナープロモーション」とは

- 「**インナープロモーション**」とは、組織のブランド価値や理念について職員への理解醸成を図ることで、**職員の意味統一**や**意欲向上**を図るための**庁内向けのプロモーション活動**のことです。
組織の方針と職員の思いが同じ方向に向くことで、**仕事の質と効率の向上につながります**。

(2) 「SDGs×インナープロモーション」

- **本「進め方」はインナープロモーションの一環**であり、「かわさきSDGs」という形で職員の意味統一を図るとともに、多くの職員に**仕事の魅力**を感じていただき、**やる気UP**につなげていくことを目指しています。
- 「かわさきSDGs」の職員意識醸成については、引き続き、関係部署と連携しながら**様々な形**で進めていきます。



令和3年度新任部長研修「市長と部長との対話」 テーマ「SDGs」

- ・新任部長研修では、市長との対話について毎年異なる対話のテーマを決めていますが、令和3年度は「SDGs」をテーマに行いました。
- ・研修の中で各部長職に所管事業が該当するSDGsのうち、目指すゴールを1つ決めてもらい、ゴールに向かって取り組む内容、部長職としてチャレンジすることを発表してもらい、市長からコメントをもらいました。

2 SDGsを「インナープロモーション」として活用する②

(3) 職場の「インナープロモーション」事例1 (まちのひろば)

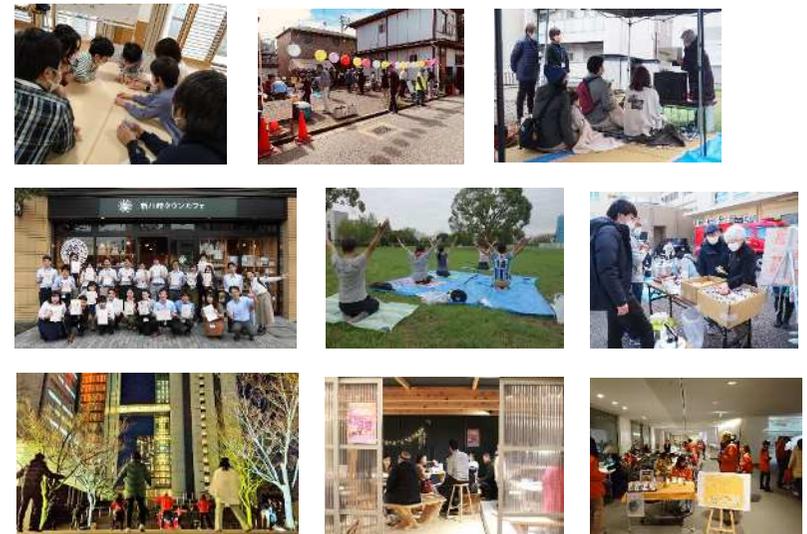


- **市民文化局**では、SDGsの重要テーマの1つ「**パートナーシップ**」に大きく関連する取組として、「**まちのひろば創出職員プロジェクト**」や「**地域コーディネーター研修**」を進めており、これらは**インナープロモーション**として、研修参加者の仕事への**モチベーションアップ**につながることを期待されます。

実践例① まちのひろば創出職員プロジェクト (R1～)

- ・若手職員の地域参加への意識改革やコーディネートスキルの向上を目的に、**職員自らが地域に出て「まちのひろば」のモデルを実施**していく、これまでにない庁内横断型のプロジェクトチームとして、令和元(2019)年度から実施。
- ・令和4(2022)年度は14人の職員が参加し、未利用地を活用した子どもの遊び場不足解消やママ同志の交流の場の創出、テーブルゲームを通じて親子で大笑いしながら交流できる場の創出、町内会の防災イベントとコラボした取組など、**地域の活動団体と連携しながら、まちを活性化**する具体的な取組を実践した。

ポイント 座学だけでなく、職員自ら地域に出て市民と触れ合うことで、参加した職員の仕事へのモチベーションアップなどのインナープロモーションにもつながっている事例



3 SDGsを「インナープロモーション」として活用する③



(4) 職場の「インナープロモーション」事例2 (脱炭素)

- **環境局**では、SDGsの重要テーマの1つ「**脱炭素**」をキーワードに様々な**インナープロモーション**を行っており、脱炭素を通じて職員の**仕事の関心度アップ**、**やりがいアップ**につなげています。

実践例① 全職員参加型の脱炭素化取組の実施 (R4～)

- ・ 脱炭素化取組について庁内**アンケート**を実施 (全庁から**300以上**のアイデア提案)
- ・ **職員投票**を実施 (上位のアイデアを選定)
- ・ 市長を会長とする局長級会議で内容を決定
- ・ 取組を実践 (全6アイデア)

新本庁舎における時間外勤務時の省エネ取組

内容

- ・ 新本庁舎への移転を契機に、新本庁舎での時間外勤務はフロアごとに一定のエリアに集まって執務し、他エリアの空調や照明を消して省エネの取組を実践

開始時期

- ・ R5新本庁舎への移転時から



職員投票第3位



職員投票第6位

職員投票第1位

ポイント 自分たちが提案・投票した取組を自分たちで実践することで意識醸成につなげている事例

実践例② 職員脱炭素化研修の実施 (R4)

- ・ 職員脱炭素化研修では専門家による**基調講演**を実施(川崎市国際環境施策参与：末吉竹二郎氏)

ポイント 多くの参加者が「**価値観が変わった**」「**衝撃を受けた**」「**痛感した**」などの感想をあげており、よくある一般的な研修ではなく、参加者に**強く刺さった研修**となった事例



実践例③ 環境局内の全職員が「脱炭素化」に関する人事目標を設定 (R2～)

ポイント 人事評価制度を活用し、組織目標を局内職員の**意思統一**につなげている事例

～ SDGsを使って「こうすればもっと良くなる」を实践 ～

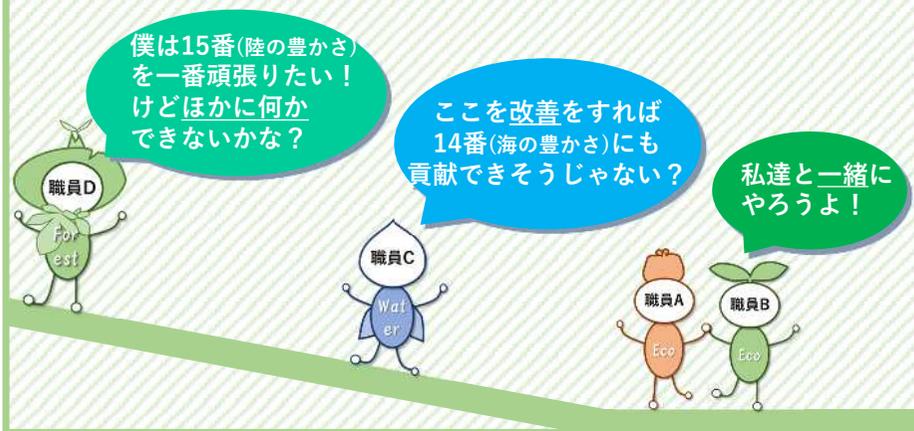
第3章 庁内事務事業をSDGs視点で改善・連携する



・第3章のイメージは・・・

SDGsを通して仕事の改善・連携につなげる

IMPROVEMENT and COLLABORATION



川崎市立東小倉小学校 (2021年SDGsトレインポスター)

1 SDGsを「事業改善・連携」として活用する①

(1) 「SDGs」を使って自分の仕事を振り返る

- 所管業務について、SDGsのゴール・ターゲットに照らして振り返ることで、**新たな気付き**につながる可能性があり、**日常的に意識**することが有効です。

ありがちな例



うちの部署はゴール3（健康と福祉）を頑張ってます。**他のゴールは他の部署でやってるから問題ないですよ**ね？

例えば、所管の健康福祉関連の施設が、現在大量にCO₂を消費するような施設であったならば**持続可能な施設**とは言えません（ゴール13関連）。また、**新たな雇用や働きがいを生むような事業検討**も大事です（ゴール8,9関連）。



良い例



うちの部署はゴール3（健康と福祉）を頑張っていて、これまで施設で出たごみの処理方法は焼却処分でしたが、**関係部署と連携して再資源化処理に切り替える**べく検討しています。
さらに中間処理工程で**障害者雇用の活用**も考えています。

複数のSDGsゴールを意識している点や、SDGsを使って**関係部署との事業連携につなげている**点がすごくいいね！



1 SDGsを「事業改善・連携」として活用する②

(2) 「SDGsウォッシュ」ではないことを確認する

- 「**SDGsウォッシュ**」とは「SDGs」と「whitewash（**ごまかし、粉飾**）」を組み合わせた造語で、SDGsに配慮しているように見せかける（**うわべだけ**）、実態以上にSDGsに配慮しているようにみせかける（**過剰アピール**）、良い情報のみを切り出す（**印象操作**）などを示します^{※16}。SDGsをアピール材料として活用する際には、**自分たちの取組が「SDGsウォッシュ」ではないことを振り返る必要があります**。
- 本市は、市役所全体として「SDGsの達成」を目指しており、全職員がSDGsを包括的に捉え、「経済」「社会」「環境」の3側面を全体的に意識しながら業務に取り組む必要があります。
- 例えば、「**社会**」に携わる部署が、「**経済**」と「**環境**」の側面に全く配慮しない（**犠牲にした**）**事業計画**を進めていては持続的な取組になりにくいですし、**内外から「SDGsウォッシュ」と評価されてしまうリスク**もあります。
- また、例えば「SDGs 3, 4, 5 番へのゴールへの貢献を強くアピールしている事業」が、その事業を推進することで「実は関係が低いと思っていたSDGs13,14,15番のゴールにとってはマイナス面」だった場合、そのマイナス面への配慮が無いと内外から「SDGsウォッシュ」と評価されてしまうリスクがあります。

自分たちの仕事が、**うわべだけのSDGs取組（SDGsウォッシュ）**につながっていないか、再確認しよう

※16 「SDGs Communication Guide」（株式会社電通 SDGsコミュニケーションガイド作成委員会 2018.6）

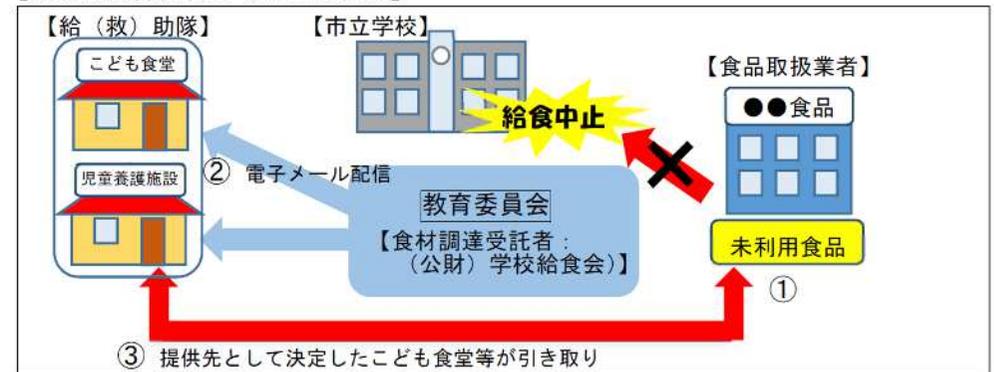
2 SDGsを意識した「事業改善・連携」の事例①

(1) 改善事例（複数のSDGsゴールを意識した事業改善）



- 市立学校の臨時休業等に伴い、**学校給食を急遽中止**したことによって、給食食材として利用できなくなってしまう食品（**未利用食品**）が発生することがあります。
- こうした、行き場を失ってしまった食品を、「レスキュー」して、こども食堂等（「給（救）助隊」）の食材に活用してもらう「**給食食材レスキュー“レス給（キュー）”**」をSDGsの取組の一つとして実施しています。
- この取組では、市内において地域の子育て支援等を目的として**子どもに食事を提供する活動団体に提供**しています。
- **令和5（2023）年5月1日** 市立小学校の給水設備の故障によって給食が急遽中止となった際、未利用となった食材（鶏肉、冷凍いか）について、提供を希望したこども食堂運営団体に提供しました。

【未利用食品提供までの主な流れ】

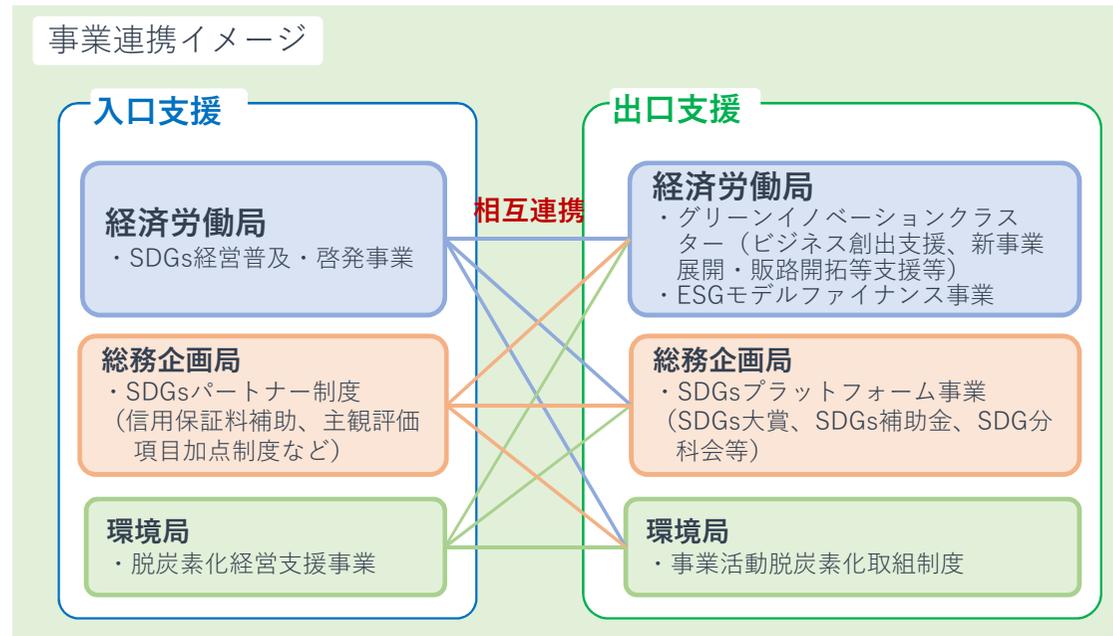


2 SDGsを意識した「事業改善・連携」の事例②



(2) 連携事例（経済・社会・環境の3側面を意識した事業連携）

- **経済労働局**では、産業振興と国際貢献を目的に平成27（2015）年度に「**グリーンイノベーションクラスター**」を設立し、市内事業の連携・支援の取組を進めてきましたが、昨今の社会環境の急激な変化を踏まえ、**環境局及び総務企画局と連携し、SDGs・ESG・脱炭素の取組**を進めています。
- 令和5（2023）年度は、グリーンイノベーションクラスターの取組の一環として、市内の中小企業が金融機関によるESGsファイナンスが活用可能なレベルまで経営基盤の強化が図られるよう、**環境局**及び**総務企画局**の各種制度と**連携**し、環境配慮への意欲が高い市内中小企業に対する新事業展開・販路開拓等支援などに取り組んでいます。



(参考) 他都市事例

Column 6

参考事例 (京都府亀岡市の庁内研修「SDGsの視点で事務事業にもう一工夫」) (R5.3)

- 京都府亀岡市では、新任係長向けにSDGsに関する研修を実施し、**SDGsの観点から事務事業の改善案を形成**。

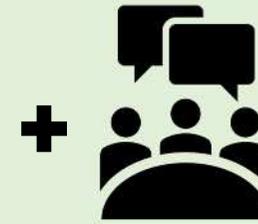
- ・ 対象者 : すべての課の全係長
- ・ 実施期間 : 2022年12月～2023年3月 (約4ヶ月間)
- ・ 実施形式 : オンデマンド形式の研修+ワークシートの作成・提出

STEP1
オンデマンド学習



約60分間

STEP2
課内での議論



約30分間

STEP3
SDGsの観点から改善案を形成

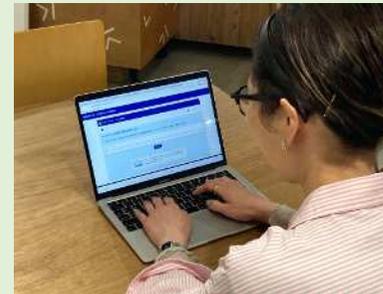


+

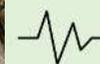
=

<実現事例: 「空き家・空き地バンクの運営業務」をSDGsの視点から改善>

- 2022年度に実施したSDGsの「係長研修」の一環で作成したワークシートをもとに**2023年度から業務の改善を実現** (移住定住促進事業)
- 関係部署との連携により、登録に係る申請手続きの電子フォームの整備を実現し、利用者(住民等)及び行政担当課双方のメリットがあり、さらに廃棄物削減、温室効果ガス削減等の環境負荷も低減。



利用者(住民等)



行政担当課

出典: 川崎市SDGs推進アドバイザー (慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教 高木 超) 作成資料から引用

～ 「川崎市のSDGs取組はこんなにすごい」を知り、活かす ～

第4章 市内SDGsの先進事例や身近な事例を知る

Advanced examples of

SDGs

・・・第4章のイメージは・・・

Advanced examples



全事務事業
= SDGs取組
と位置づけ

特にこの取組が
SDGs的にすごい！



川崎市は
SDGs未来都市です



脱炭素アクションみぞのくち 検索

車内の携帯電話のご利用マナーにご協力ください

川崎市は『みぞのくち』から
脱炭素化モデルを全国へ展開していきます
市民の皆さま、多様な事業者と連携し進めていきます

脱炭素アクションみぞのくち (2022年SDGsトレインポスター)

1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る①

「かわさきSDGs」はすべての職員が主役です

- 本市はすべての事務事業をSDGsゴールに関連づけており**すべての職員がSDGs取組の主役**であると考えられます。
- ここでは、その中でも**ほかの局区の職員への参考となる身近な優良事例**や、「**SDGs達成への寄与度が大きい重点事例**」を紹介します。

(1) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」① (教育委員会事務局) [身近な優良事例]

- 市立学校の**学校給食用牛乳**は、これまで使い捨てプラスチックストローを**年間約2,000万本**も使用していましたが、本市のSDGsの取組の一環として、令和5(2023)年4月より、**すべての市立学校でストローレスパック**に変更しました。
- この取組は、**児童生徒からの手紙や子どもたちが中心**となって開催されたSDGsの会議などにおいて、**子どもたちから提案を受けて始めた**ものであり、**雪印メグミルク株式会社等との連携**によって実現しました。



「子どもたち」の「身近な提案」が具体的な取組につながった事例だね。**全ての市立学校**で一斉に始まるから、市内に子どもを持つ**多くの世帯へのSDGs意識の広がり**が期待できるね。

1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る②

(2) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」② (環境局) [身近な優良事例]



- **環境局**では、優れた省エネ・CO₂削減取組等を行っている事業者・団体等を表彰する「**スマートライフスタイル大賞**」の取組を実施しており、令和4（2022）年の第11回は14団体を表彰しました。
- 大賞を受賞した「**特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘**」では、おむつの交換時に必要となるビニール袋の代わりに、新聞紙を使用し、12年間で250万枚の**レジ袋を削減（CO₂削減に貢献）**しました。
（同時に脱炭素チャレンジカップ2023：**環境大臣賞**金賞受賞）
- 新聞は**近所、家族、ボランティア、新聞販売店**の力を借り、新聞紙の折り畳み作業等は**入居者（高齢者）の「お仕事」**になっており、**入居者のやりがい**にも繋がっています。
- また、「**SDGs新聞**」や入居者の御家族に向けたお便りを発行し、みどりの丘でのSDGsの取組や**家庭でもできる取組**を発信しています。



第11回スマートライフスタイル大賞（特別養護老人ホーム潮見台みどりの丘）

もとは省エネ表彰制度なのに「**複数のSDGs** **ゴールにつながる**」
「**身近な**」取組を表彰
していて、とても参考
になるね。

1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る③

(3) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」③ (幸区役所) [身近な優良事例]



- 幸区役所では、SDGsパートナー制度に認証された企業及び団体を、「市政だより幸区版」で紹介し、認証事業者の取組を広め、他の事業者にもSDGsの達成に向けた意識や取組の波及をねらっています。
- 区役所内課名案内板へのSDGsゴールのアイコンの掲示や、庁内のごみ箱を活用した啓発など、来庁する区民に向けて、日ごろからSDGsを目にする機会を増やす工夫を行っています。
- ほかに、区内事業者であるCCさいわいと連携し、脱炭素の普及啓発を目的としたイベント「さいわいエコツアー」を実施するなど、SDGsを意識した取り組みを行っています。

区内の「かわさきSDGsパートナー」を紹介! Vol.19

区内の「かわさきSDGsパートナー」を紹介するコラムを連載しています。SDGsの達成に向けて力を合わせて取り組ましましょう。

区役所企画課 ☎044-556-6612 팩044-555-3130

一般社団法人 くすのき自然クラブ

「子どもたちに自然と暮らす環境になってもらいたい、子どもとその保護者と同じ方向を自然の中で向き合ってもらいたい」という思いから平成17年に活動を始めました。田んぼ・畑での農あそびや多摩川河口干潟、栗山町の磯での水辺遊びなどの自然体験活動を行っています。自然遊びを通して人と自然の距離を縮めて、環境のことを考えながら自然とともに暮らしていく「環境共育」という気持ちを育んでいます。

SDGsに関する取り組み

自然の専門家と活動することで生き物の多様性を感じ、自然への理解を深めます。自家用車での参加者から植樹活動を行うNPO法人へ着付をしてもらうほか、使わなくなったおもちゃや本の持ち寄り交換会を行うなど、環境負荷を少なくする活動を行っています。また地域の小学校へ出向き、校庭の自然探検や食育実践の授業を行っています。こうして社会全体が自然とともに持続可能なものとなるよう、普及啓発につながる取り組みを進めています。

市政だより幸区版



幸区企画課 課名案内板



区役所内ごみ箱



さいわいエコツアー

SDGsパートナーの紹介や、区役所内の意識啓発の取組など、できることから積極的に行う身近な優良事例だね。

1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る④

(4) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」④ (中原区役所) [身近な優良事例]



- 中原区役所では、区内の小中学生がSDGsを学ぶことができる環境整備に向けて、地域団体や企業が環境活動の一環で実施する「子ども環境授業」について、区内の小中学校への普及を支援しています。
- 区内の小学校やかわさきスポーツパートナーと連携して、楽しみながらSDGsを学ぶ場を提供するため、大型商業施設「グランツリー武蔵小杉」内の共用スペースを活用して「なかはらSDGsまつり」を開催しています。
- 「子ども環境授業」や「なかはらSDGsまつり」など、SDGsを推進する小学校や区内団体・企業等の取組を市政だより区版の1面で紹介しています。



区内の学校や地域団体などと一緒に、SDGsを意識した身近な取組を行っていて参考になるね。

1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る⑤

(5) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」⑤ (臨海部国際戦略本部) [寄与度が大きい重点事例]

- 本市では**政令市で最も多くの温室効果ガスを排出**している状況のなか、**臨海部国際戦略本部**は、令和4(2022)年3月に「**川崎カーボンニュートラルコンビナート構想**」を策定し、川崎臨海部のカーボンニュートラル化に向けた取組を推進しています。
- パイプラインを活用した水素サプライチェーンの事業性調査や羽田空港及び周辺地域における水素利用の調査など、川崎臨海部企業等と協働し、国のプロジェクトへ参画しています。
- **令和5(2023)年3月**には、川崎臨海部がグリーンイノベーション基金事業の一環として、**総事業費3,000億円規模**の液化水素サプライチェーン実証の**受入地に選定**され、**今後、商用規模での国際的な水素サプライチェーンの構築が期待**されます。
- こうした取組を通じて、**日本全体のカーボンニュートラル化に大きく寄与**します。



川崎臨海部のカーボンニュートラル化の成否が**日本のカーボンニュートラルの鍵を握っている**。
日本の**経済・社会・環境に大きく影響する重要プロジェクト**だね



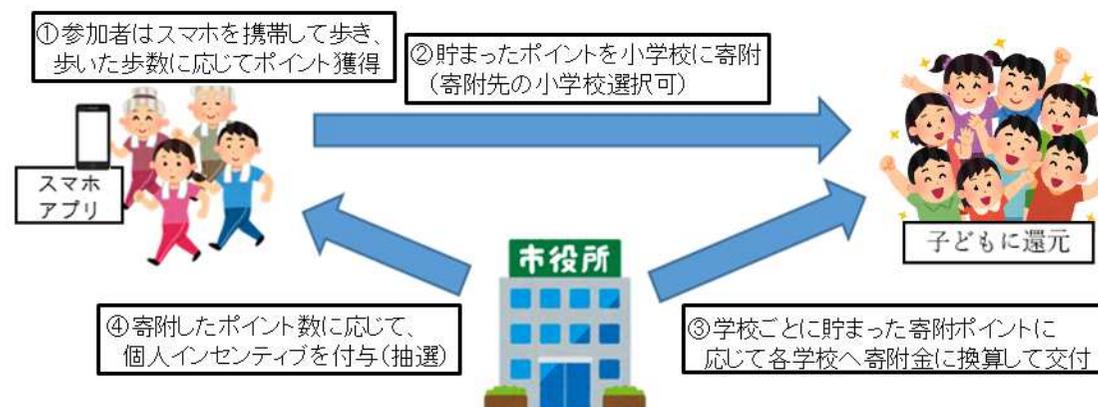
1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る⑥

(6) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」⑥ (健康福祉局) [寄与度が大きい重点事例]



- **健康福祉局**では、無理なく継続して取り組みやすいウォーキングで市民の健康意識を高め、健康行動の習慣化を促進するとともに、運動成果を地域社会や子ども達にも還元することで、子ども達の希望を叶え、健康と優しさが循環する「健康循環社会」の構築を目指す「**かわさきTEKTEK**」(健康ポイント事業)を令和5(2023)年10月から開始します。
- アプリ利用者が歩いて獲得したポイントは**市立小学校や特別支援学校を指定して寄附**し、本市が貯まったポイントを各学校に寄附金に換算して交付します。学校では可能な限り、子どもたちが自ら寄附金の用途を検討し、**子どもの健康や学校教育、地域還元等に結びつくような活用**をしていく予定です。
- さらに、アプリの機能や事業の仕組みを活用し、他の施策等と連携した**複数のSDGsゴールを意識した取組**も検討します。

市民の健康行動が、子どもたちへの支援にもつながっていて、**複数のSDGsの取組が連携し合っている**事業だね



1 庁内SDGsの「先進事例や身近な事例」を知る⑦

(7) かわさきSDGsの「先進事例や身近な事例」⑦ (平間小学校) [寄与度が大きい重点事例]



- 令和5（2023）年3月、**平間小学校**の5年生が「**未来の多摩川**」をテーマとして、平間銀座商店街の空き店舗の壁に、**壁画アート**を描きました。
- 「**地域を巻き込むSDGsアクション**」のひとつとして行われたこのイベントは、**平間銀座商店街**や壁画アートを制作している団体「**BEHIND THE WALL**」など、まちづくりに関わる**多くの人の協力のもと**に行われました。
- **SDGs × 地域 × 文化芸術**の観点から、みんなで住み続けられる素晴らしいまちづくりを進めていきます。

文化芸術の方面で、**小学校、商店街、若者団体**など**いろいろな人が関わりあいながら、未来の川崎のために**取り組んでいるね。



平間発！未来創造プロジェクト
 ～より豊かな未来を願い、みんなで「楽しい多摩川」を描こう！～
 川崎ガサガサ探検隊 ミライの多摩川を描く

～ 推進体制・進行管理・今後の方向性 ～

第5章 かわさきSDGsのゴールに向けて



黒川海道特別緑地保全地区植樹祭会場（2021年SDGsトレインポスター）

1 かわさきSDGsの推進体制・進行管理等

(1) かわさきSDGsの推進体制

- 総合計画（第3期実施計画）に記載のとおり、全庁的なSDGsの推進にあたっては、令和元（2019）年6月に設置した「**川崎市持続可能な開発目標(SDGs)推進本部**（※市長を本部長とし、全局（室）区長で構成）」を中心に、各局室区における取組の協力と、関係部署相互の連携を推進します。
- また、引き続き国の取組との連動や、「かわさきSDGsパートナー」や「川崎市SDGsプラットフォーム」を基盤とした多様な主体との連携強化、職員や市民、企業団体等への理解の浸透を図り、効果的にSDGsを推進します。

(2) かわさきSDGsの進行管理

- 総合計画（第3期実施計画）に記載のとおり、本市のSDGs推進に向けた取組については、総合計画に基づく施策・事務事業を通じて行うため、**進行管理においては、総合計画における進行管理と一体的に行います。**

(3) 本「進め方」のアップデートについて

- SDGsは2023年から後半フェーズとなっており、2030年の取組年限に向け、SDGsを取り巻く環境は日々変化し、年々進化・加速しています。
- こうした状況を踏まえ、職員がSDGsに関する最新動向を把握し行政施策に生かしていけるよう、**本「進め方」は年1回程度を目安にアップデートを行います。**

(別紙) 附属資料等

引用・参考文献等

- ※1 「Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標」
- ※2 「Global Sustainable Development Report 2023(Advance, Unedited Version 14 June 2023) (United Nations 2023.6)」
- ※3 「SDGsアクションプラン2023」(外務省 SDGs推進本部 2023.3)
- ※4 「World Now 市民が参加するSDGsが社会課題に新たな視点を与える」(GLOBE+ 2018.1)
- ※5 「ESG投資を巡る課題」(財務省資料：早稲田大学経営管理研究科根本直子教授 2021.6)
- ※6 「SDGs経営導入ガイド」(川崎市発行 2023.3)
- ※7 「Global Footprint Network」(NFA 2018)
- ※8 「グリーントランスフォーメーション(GX)に向けて」(経団連 2022.5), NOAA/ESRL Global Monitoring Division
- ※9 「SDGs Compass (SDGsの企業行動指針 - GRI・UNGC・WBCSD)」
- ※10 「特集 SDGs (持続可能な開発目標) と科学技術イノベーションの推進」(文部科学省 2019.9)
- ※11 「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略(2020改訂版)」(内閣府 2020.7)
- ※12 「SDGsの実践 自治体・地域活性化編」(村上周三 2019.4)
- ※13 credit: Azote Images for Stockholm Resilience Centre, Stockholm University
- ※14 持続可能な開発のための2030アジェンダ(外務省仮訳版)
- ※15 「2022経済展望と持続可能な資本主義の道筋」(経団連会長スピーチ 2021.12)
- ※16 「SDGs Communication Guide」(株式会社電通 SDGsコミュニケーションガイド作成委員会 2018.6)



(別紙) 附属資料等

(1) 本「進め方」の作成協力

- 本「進め方」の作成にあたり、**川崎市SDGs推進アドバイザー**（慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任助教 高木 超）及び**川崎市SDGsプラットフォームコアメンバー**による助言・アドバイスをいただきました。

(2) 川崎市SDGsプラットフォームのコアメンバー

- 川崎市SDGsプラットフォームは、川崎市内でSDGs推進に取り組む事業者を支援しネットワークを構築すること等を目的として設置しており、運営に関する企画、立案や事業広報等を行うため、**コアメンバー**を組織しています。

(コアメンバー)

- ・ 川崎市（事務局）
- ・ 川崎信用金庫（事務局）
- ・ 川崎商工会議所
- ・ 公益財団法人 川崎市産業振興財団
- ・ 一般社団法人 川崎青年会議所
- ・ 公益財団法人 かわさき市民活動センター
- ・ 川崎市地球温暖化防止活動推進センター



(別紙) 附属資料等

(3) 総合計画とSDGsの対応

- 総合計画（第3期実施計画） p64～66
ここでは、**SDGsを踏まえた政策の推進**について示しています。
- 総合計画（第3期実施計画） p104～116
ここでは、**かわさき10年戦略**における2030年にめざす姿と併せて、**SDGsの関連するゴール**を示しています。
- 総合計画（第3期実施計画） p128～135
ここでは、**総合計画の政策・施策とSDGs17のゴールの対応一覧**を示しています。
- 総合計画（第3期実施計画） p736～755
ここでは、**総合計画の各事務事業について関係するターゲット**を掲載するとともに、該当するゴール全体に関する事務事業については、**ゴール番号**を示しています。



川崎市総合計画第3期実施計画

(別紙) 附属資料等

(4) 「川崎市SDGsプラットフォーム」の取組例

ア かわさきSDGs大賞

- ・SDGsの推進に向けた具体的な取組の普及及び推進を図るため、「かわさきSDGsパートナー」の優れた取組を表彰する「**かわさきSDGs大賞**」を**令和4（2022）年度に初開催**
- ・**応募総数44件**の中から、1次選考、2次選考を通過した5者による公開プレゼンテーションを実施し、**大賞、優秀賞及び特別賞**を決定

賞の種類	概要
かわさきSDGs大賞 	有限会社グリーンフーズあつみ・おつけもの慶 「食」を通じた地域社会への貢献とフードロスの削減、環境保護への推進事業 様々な食材・地産地消・販売用容器のプラ削減などの業務改善の取組を無理なく出来る範囲でバランスよくSDGsと結びつけて行っており、幅広く他の団体の参考となる取組
優秀賞 	株式会社DeNA川崎ブレイブサンダース 「川崎ブレイブサンダース SDGsプロジェクト「&ONE」 ホームゲームでSDGs17目標すべてにチャレンジする「&ONE」の取組で地域の小学生や障害者の方を巻き込んだ多くの取組を進め、名門スポーツチームとしての発信力を活かして多くの人にSDGsを意識させるきっかけとなっている取組

(別紙) 附属資料等

イ SDGsモデル事業創出支援補助金

・令和4（2022）年度に試行実施した「SDGsモデル事業創出支援補助金」を**令和5（2023）年度から本格実施。**

・補助概要（R5）

・1件あたり補助率1/2以下かつ補助限度額50万円

<R4採択例> **かわさきカンキツオイルプロジェクト**（株式会社ナンバーバル：交付額 463,200円）

川崎市内産の柑橘類（規格外品）を中心とした**精油製造**と**スプレー開発**



(別紙) 附属資料等

ウ 川崎市SDGsプラットフォーム「分科会」

- ・パートナー間によるSDGsの達成に向けた課題の検討や知見の共有及び取組の具体化に向けた研究などを行うことを目的に、**令和4（2022）年度から「分科会」を設置。**
- ・パートナーからの提案に基づき、現在、**6つの分科会**でパートナー同士が協力・連携し、お互いの強みやノウハウを活かして、**自主的に活動**している（※R5.8.1時点の数であり、現在新たな分科会の設立準備中）。

分科会名		活動内容
海の豊かさを守ろう fromかわさき	5団体 	海の環境問題について、ビーチクリーンアップやリバークリーンアップなどを通して、陸上から海にごみ流れ込んでいることを理解したり、セミナーやワークショップの開催などで、今、何が起きているのかを多くの人に知ってもらうことを目的に活動。
次世代向け SDGsチャンネル	14団体 	小学生をはじめ、中高生・大学生までの学生をターゲットにした企業等のSDGs活動のコンテンツを提供し、企業訪問や出前講座など学校と企業をマッチングするためのポータルサイト「次世代向けSDGsチャンネル」の構築を目指して活動。
端材「新」活用 研究会	2団体 	企業の生産活動において継続的に発生する「端材」を単純に廃棄するのではなく、有効活用するモデルの検討・構築を目指して活動。
健康経営を探求し 構想し実現を目指す	4団体 	健康管理を経営的な視点で考え、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、業績向上や株価向上につなげる戦略的な実践を目指して活動。
子どもたちへの 寄付スキーム	15団体 	子どもの成長とあふれる笑顔を実現するため、企業や家庭でやがて廃棄されてしまう災害時用の非常食や文房具などが、寄付等を通じて必要な子どもたちに届くサイクルの構築を目指して活動。
「3. すべての人に 健康と福祉を」福祉の 面で達成する会	8団体 	高齢者福祉施設を対象に、参加メンバーが持っている知見・製品・サービス等を活かして相乗効果により、利用者・運営者のニーズを充足し、質の高い生活をそれぞれが楽しみ、満足した生涯を送ることができる“かわさき”を目指して活動。

※ 各分科会の団体数は発足時の数

(別紙) 附属資料等

エ かわさきSDGsポータルサイト

- ・かわさきSDGsパートナーの登録・認証制度への申請等の効率的な運用や、パートナーの活動の見える化による市民理解の促進を目的に、**令和5（2023）年1月から運用開始。**

ポータルサイトの主な機能

- 登録・認証制度への申請等の効率的な運用
- メッセージ送信等のパートナー同士の交流機能
- パートナーの活動の見える化による市民理解の促進



オ SDGsトレイン

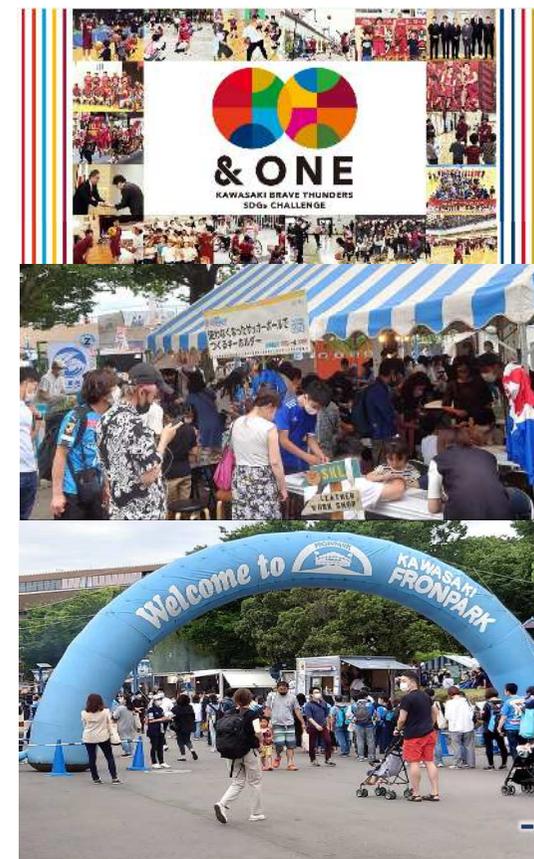
- ・東急株式会社が運行する「**SDGsトレイン**」に本市の取組を紹介するポスターを掲出し、SDGsの普及啓発を推進
- ・運行期間：**令和2（2020）年9月から令和8（2026）年3月**まで
（1年を4クールに分けて掲示内容変更）



(別紙) 附属資料等

カ その他事業展開

- ・川崎ブレイブサンダースとの共催によりフォーラムを年2回開催し、企業の先進事例や、より実践的な取組を共有。
- ・川崎市SDGs推進アドバイザーである、慶應義塾大学大学院の高木特任助教によるセミナー（講演）を、SDGs実践のヒントを得ることを目的に、国際環境技術展との連携により実施。
- ・市政だよりや、教育だより、かわさきFM、ポータルサイト等でSDGsの理解促進を図るとともに、川崎フロンターレ主催のSDGsランドや、国際環境技術展等のイベントへの出展、出前講座など**市民・事業者への普及促進**を実施。
- ・パートナーと連携し、東柿生小学校（里山を持続可能な環境にする活動）、東小倉小学校（SDGsに向かう大人たちをテーマに授業）、大島小学校（大豆ミートを使った給食を考案）、県立多摩高校（対話を通じてSDGsを深く学ぶ授業）等へ**出張授業**を実施



かわさきSDGsは、川崎市の未来のための取組です。

2023年以降の後半フェーズでは、すべての職員が当たり前
SDGsのことを意識して業務に取り組んでいるような状態を目指し、
全力で取り組んでいきます。



第1回かわさきSDGsパートナー



1960年代の川崎臨海部



現在の川崎臨海部



SDGs未来都市授賞式



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



2030 川崎から未来へ



2023年8月川崎市

※本「進め方」は、カラーユニバーサルデザインに配慮しています



第1回かわさきSDGsパートナー

